

高校生による中学生の主体的な進路選択支援事業

学びの改革支援課

1 事業目的

高校生等が企画、運営する、県内の高等学校の取組を広く紹介する新しい形の合同説明会の開催を支援し、中学生が、自分の興味や適性を見つめ、将来への展望を持ちながら自らの意思で進路について考える機会を創出する。

2 現状と課題

中学生の進路選択にあたっては、学校見学会や進路だより等による情報提供、担任による個別面談、保護者を含めた進路相談等を行っている。

生徒目線で高校を知る機会を設け、中学生の理解を更に深める取組が必要

3 ねらい

○高校生自らが企画し、生徒の目線で、生徒の生の声を伝える機会をつくることで、中学生が「生き生きと輝く高校生」の姿を目の当たりにして、高校生活に具体的なイメージをもちながら自らの意思で進路について考える一助とする。

○中学生にとって、自信をもって「自分に合っている高校」を選択する意思の醸成につながる。

○高校生にとって、説明会の場を企画運営することは、自校で学ぶことの意味を見つめる探究の機会になる。

○地域にとって、活気ある高校での学びを知り、共創の風土を築く場になる。

4 事業内容

○県内4通学区で合同説明会を企画運営する高校生等の団体、実行委員会等を募集

○運営を行う高校生等の団体は、説明会の企画段階から主体的に取り組むこととし、県は、取組を費用面から支援

5 令和6年度予算額 47万3千円